



HIROSHIMA UNIVERSITY

広島大学

男女共同参画のとりくみ

広島大学 男女共同 参画宣言

男女は、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画し、政治的、経済的、社会的及び文化的利益を等しく享受する権利を有するとともに、そのような社会をともに創り出す責務を負う。平成11年6月に公布・施行された男女共同参画社会基本法においても、男女共同参画社会の実現は、「21世紀の我が国社会を決定する最重要課題」と位置付けられており、この方針の実現のため、平成17年12月に男女共同参画基本計画（第2次）が閣議決定されている。

我が国においては、日本国憲法に個人の尊重と法の下での平等がうたわれ、これまでも男女平等の実現に向けた様々な取組が、国際社会の取組とも連動しつつ進められてきた。しかし、長い歴史の中で形成された性別による差別的取扱いや固定的な社会通念は、教育・研究の分野においても様々な形態で依然として存在する。知の拠点としての大学は、知の生産のみならず次世代の教育と社会的文化的価値の創造を担う重要な機関であるがゆえに、男女の特性を認識しつつ、男女間の格差を是正し、構成員一人一人の個性と能力が十分発揮できる組織であることを示す社会的責務を有する。

広島大学は、その前身の一つである広島師範学校において明治15年にいち早く女子部を併設し、教育界に多くの優れた女性の人材を輩出してきた。さらに、昭和4年に設置された広島文理科大学においても設置当初から女子学生を受け入れ、戦前から高等教育における男女共学を実現してきた。この歴史に体现されている精神をさらに発展させ、男女共同参画の今日的課題に取り組んでいくこととしたい。

また、広島大学が目指す「世界トップレベルの特色ある総合研究大学」を実現するためにも、大学における男女の対等な参画をより一層推進することによって、個人がその個性と能力をいかに発揮できる風土を創出することが最重要課題である。

以上の観点から、広島大学は、男女共同参画基本計画（第2次）の趣旨を十分に踏まえつつ、次の基本方針を基に男女共同参画を推進し、男女共同参画社会の構築に積極的に寄与することを宣言する。

【基本方針】

- 1 教育・研究・就業の場における男女平等の推進
- 2 性別に基づく差別や排除を助長する制度・慣行の見直し・改善
- 3 大学運営における意思決定への男女共同参画の推進
- 4 家庭生活と教育・研究・就業とを両立させるための男女への支援
- 5 地域社会・国際社会との連携を通じた男女共同参画の推進
- 6 男女共同参画の啓発活動と教育研究の推進

平成18年10月17日

広島大学における男女共同参画の取り組み



広島大学長
浅原 利正

広島大学は、社会に貢献する人材育成と人類の未来に資する科学研究を重要な使命とした総合研究大学です。約5,000人の教職員と約16,000人の学生が所属しています。これらの人々が、それぞれの個性と能力を発揮し、また、より高めあえる職場環境・教育環境にするために男女共同参画に取り組んでいます。



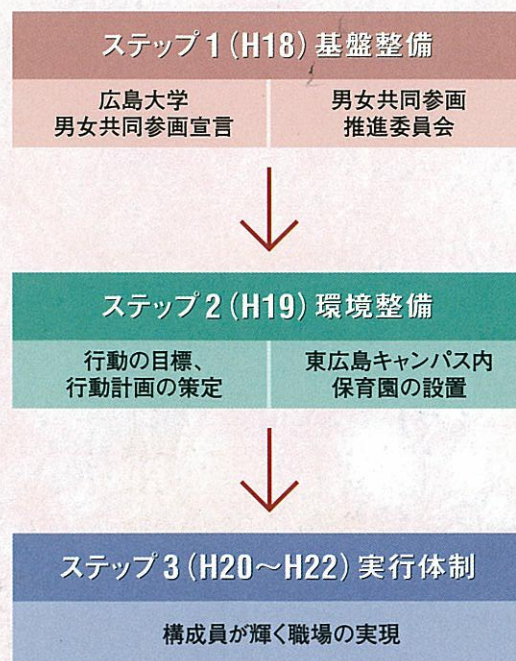
広島大学理事（総務担当）
工藤 敏夫

平成19年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」に広島大学から提案した「リーダーシップを育む広大型女性研究者支援」事業が採択されました。全力で、この事業をバックアップしていく所存です。



広島大学副理事（男女共同参画担当）
相田 美砂子

大学院理学研究科教授
男女共同参画推進委員会では、行動の目標とそれを達成するための行動計画を策定しました。この計画を実行していくことによって、ことさら「男女共同参画」と強調する必要がない広島大学になることをめざしています。

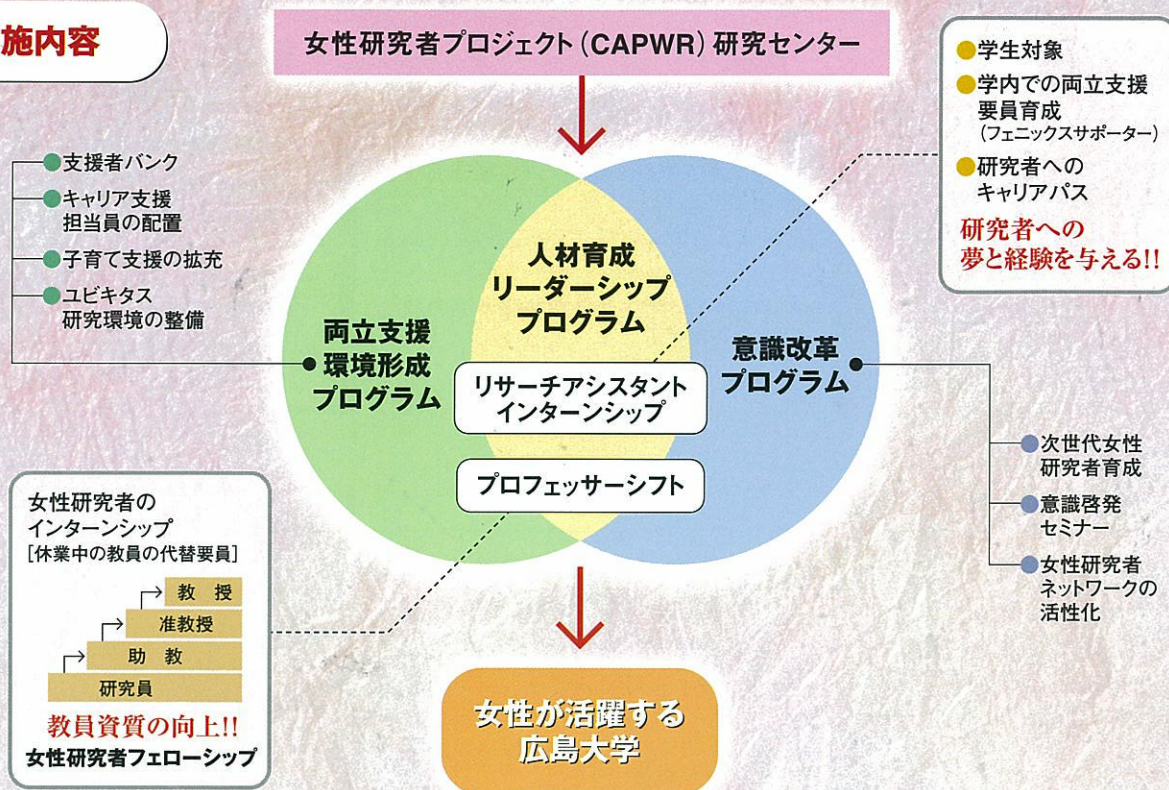


広島大学男女共同参画宣言（基本方針）に基づく行動の目標・行動計画

基本方針	行動の目標	行動計画
1 教育・研究・就業の場における男女平等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 構成員が男女共同参画の理念を理解する ▶ 次代を担う学生が男女共同参画の理念を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全教職員対象の啓発活動を推進 ▶ 取組み状況や職階級別の女性の割合を毎年公表 ▶ 男女を問わず学生の意識向上のための活動を推進 ▶ 学生の意見を取組みに反映させる仕組みをつくる
2 性別に基づく差別や排除を助長する制度・慣行の見直し・改善	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 構成員が男女を問わず、適材適所に生き生きと活躍する環境の実現 ▶ 男女を問わず学部・大学院への進学志望者が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 構成員が活躍できる環境づくりに取り組む ▶ 女性の意欲向上のための取組み ▶ ポジティブアクションの推進 ▶ 進路指導者（小中高大院）の意識改革 ▶ 企業からのロールモデルを進路指導に活用する ▶ 学生にとって魅力的であるような奨学金制度の検討
3 大学運営における意思決定への男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 男女共同参画推進室の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 男女共同参画推進委員会の活発な活動を学内に示す
4 家庭生活と教育・研究・就業とを両立させるための男女への支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次世代育成支援対策推進法の認定を受ける 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 支援情報のワンストップサービス化推進（HPの活用） ▶ 文科省やJST等公募の男女共同参画関連プロジェクトの支援
5 地域社会・国際社会との連携を通じた男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 広島大学が中国四国地方の拠点大学としての役割を果たす ▶ 広島大学の取組みを内外に発信 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地方公共団体や産学官の連携を強化し、良い取組を広げていけるような関係を築く ▶ 各国提携大学等のequal opportunityへの良い取組を取り入れ、より連携を深める ▶ 「男女共同参画」のHPを和英で拡充し、さまざまな情報を一元化
6 男女共同参画の啓発活動と教育研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 教育と研究を通して男女共同参画を根付かせる 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学生が男女共同参画の理解を深めるために教養教育科目の充実 ▶ 各種研究費獲得を奨励するための取組み

リーダーシップを育む広大型女性研究者支援

実施内容



女性研究者支援プロジェクト研究センター [Career Advancement Project for Women Researchers: CAPWR]



女性研究者のための研究資金獲得セミナー



東広島キャンパス学内保育園完成予想図 (平成20年3月開園予定)

文部科学省の平成19年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業において、広島大学が提案した「リーダーシップを育む広大型女性研究者支援」が採択されました。この事業は、女性研究者支援プロジェクト研究センターが推進母体となり、持続可能な女性研究者の支援と育成を行い、広島大学から全国に女性研究者支援モデルを発信していくことを計画しています。

この事業は(1)研究と育児・介護の両立のための両立支援環境形成プログラム(2)次世代育成と啓発・広報活動のための意識改革プログラム(3)女性研究者・学生を対象とした人材育成・リーダーシッププログラムの3つのプログラムが柱となっており、これらを実施することで、広島大学の女性研究者が「より良い研究環境」で実績を積み重ねていくことを目指しています。



広島大学女性研究者支援プロジェクト研究センター

739-8512 広島県東広島市鏡山1丁目2番2号 中央図書館B126
TEL&FAX.082-424-4355 E-mail:capwr@hiroshima-u.ac.jp
<http://www.capwr.com/>